

行雲流水

No.238 令和4年7月28日発行

夏休みを有効につかおう！！

校長 寒河江 正人

自分自身としっかり向き合い、「やる気と自信の芽」を育てよう！

夏休みは、1年間における大切な「ターニング・ポイント」だ。

3年生にとっては、「来春4月からの進路の扉」を自力で開く準備が本格化する。

1・2年生にとっても、「2学期の成長・飛躍」に向けて、弾みをつけたいタイミングだ。

長期の休業日を迎える前は、いろんなことができるだろうと「ワクワク」期待が膨らむ。
この「ワクワク感」が、大切なのだ。

「ワクワク感」は、がんばろうとする「やる気」を起こす「スイッチ」になり得るからだ。

この「ワクワク」が新鮮なうちに、一步前進する「夏の1アクション」をおすすめする。

この夏、何か**1つ**、小さなことでいいから、自分で決めて、しっかりとやり遂げてみよう！
早朝のランニングでもいい、バットの素振りでもいい、読書でもいい、数学のドリル学習でもいい、英語の長文読解でもいい、お手伝いでもいい。

「自分で決めて、自分でやり遂げる」と、それが「確かな自信（経験）」になる。

何か**1つ**、「やれば、できる。」という経験が、次の「やる気エネルギー」を生み出すのだ。

この「やる気エネルギー」は、決して誰か他の人から、与えてもらえるものではない。
それを生み出すのは、生徒諸君一人ひとり、「きみ自身」なのだ。

「亀の歩みは、鈍いが確かである。

ただ一心に目標を見つめ、一步、また一步と確実に歩み続けるのみ！」

「大切なのは、目指す地点が、ぶれないこと。

少しでも、前進することを意識していれば、

確実に目標は、近づくのだと信じる心があなたを強くする！！」